

## I. スポーツ振興支援事業

### 1. スポーツによる青少年の健全育成事業の普及・振興

#### (1) 個人能力向上のための体力測定実施

平成19年9月から11月にかけてYMF S提携ヨットスクール(10校)にて、体力測定、能力向上機器(握力計、エキストラチューブ無償提供)を整備し、体力測定(シャトルラン、反復横とび、握力など6項目)を実施しました。今年度は測定回数(1回)および測定数量(全学年40件)が少ないため、今後の正確な測定結果抽出のためのテストと位置づけました。

#### (2) 指導カリキュラムの整備と充実化

セーリング指導者向け教材として、DVDおよびテキストの作成を開始しました。平成20年度より斡旋を予定しています。

DVD「ディンギーセーリング<指導者用>」

テキスト「YMF Sセーリングテキスト<指導者用>」

#### (3) ジュニアヨットスクールの運営

JMPF(日本マリンスポーツ普及教育振興財団※以下JMPF)の解散に伴い、平成19年9月より事業を引継ぎ、全国17店のJMPF認定ヨットスクールネットワークを発展的に解消し、新たにYMF S提携ヨットスクールネットワークとして、15店と契約を取り交わし連携を強化しました。平成19年10月、第1回提携ヨットスクール会議を実施し、マリンスポーツ振興の充実化策を提示、承認を得て、指導者資格取得支援や安全施設充実化に向けた支援を開始しました。あわせてYMF S葉山ジュニアヨットスクールの運営を開始しました。

### 2. スポーツの普及推進のための指導者への教育指導活動・指導者の派遣および教育機器等の提供

#### (1) 指導者向け講習会および指導者派遣の実施

ジュニアヨットスクールの充実化および地域マリンスポーツ振興を支援するための指導者に向けた講習会や指導者派遣のあり方について企画検討を開始しました。

#### (2) 指導者登録システムの構築

上記に伴う指導者登録システム構築に向け、企画検討を開始しました。

#### (3) ボール等軽備品の無償配布

小中学校、高等学校、スポーツクラブ、養護学校に対し、下記の軽備品を提供しました。平成19年7月10日から9月10日までインターネットにより募集活動を行い、抽選により提供先(48団体)を決定しました。

- ① サッカーボール公式球&練習球(5号球) 15セット
- ② サッカーボール公式球&練習球(4号球) 10セット
- ③ ラグビーボール公式球(一般用) 5セット
- ④ ラグビーボール公式球(ジュニア用) 5セット
- ⑤ システムストップウォッチ(プリンター付き) 8セット
- ⑥ 万歩計 5セット

応募は42都道府県220団体にのぼり、申請者のスポーツ普及への熱意がうかがえました。平成20年度は提供数を増やし、少しでも多くの子供たちがスポーツを楽しめ

る環境作りを目指します。

3. スポーツの普及・振興に関する調査研究、スポーツの普及・振興のための講習会・フォーラムの開催および競技会等の開催支援

(1) 調査研究の実施

① スクール生・一般対象興味関心調査

平成19年9月から10月にかけて、YMF S提携ヨットスクール生およびその保護者にアンケート調査を行いました。スクール生、保護者ともにスクール活動を通し、自己判断力や自然への感性が高まり、自己成長性が確認できる場ととらえていることがうかがえました。(8スクール、子供63名、保護者64名)

② 体力測定データ分析

1. (1) に同じ。

(2) 競技会等の開催支援

平成19年3月にJMP F主催にて実施されたジュニアチャンピオンレガッタへの人的サポートを行いました。平成20年度からは、JMP Fの解散および事業引継ぎを受け、「YMF Sセーリング・チャレンジカップ I N浜名湖」として毎年3月に開催します。

## II. スポーツチャレンジ助成事業

1. スポーツ振興、文化発展のための人間科学・スポーツ医学・予防医学等の研究およびスポーツにかかわる技能・体力の向上、体験等に対する支援・助成

YMF Sスポーツチャレンジ助成として「スポーツチャレンジ体験助成」、「スポーツチャレンジ研究助成」の制度を設け、平成18年12月から平成19年2月末まで募集、平成19年3月に一次審査(書類選考)、二次審査(面接選考)を経て、YMF Sスポーツチャレンジ助成第1期生助成対象を決定しました。助成対象件数は下記の通りです。

「スポーツチャレンジ体験助成」 15件(応募総数 74件)

「スポーツチャレンジ研究助成」 16件(応募総数 101件)

2. スポーツ振興、文化の普及・発展のための研究等活動を行う学生に対する奨学金給与

YMF S国際スポーツ奨学金として「海外留学生奨学金」、「外国人留学生奨学金」の制度を設け、平成18年12月から平成19年2月末まで募集、平成19年3月に一次審査(書類選考)、二次審査(面接選考)を経て、YMF S国際スポーツ奨学金第1期生給与対象者を決定しました。対象者数は下記の通りです。

「海外留学生奨学金」 1名(応募総数 2名)

「外国人留学生奨学金」 3名(応募総数 14名)

### Ⅲ. スポーツ文化事業

1. スポーツの普及・振興に功績のあった個人・団体に対する表彰およびスポーツの普及・振興のための書籍・視聴覚教材の制作・出版

セーリング愛好者向け教材として、DVDおよびテキストの作成を開始しました。  
平成20年度より斡旋を予定しています。

DVD「ディンギーセーリング」〈1人乗り教材〉、〈2人乗り教材〉

テキスト「YMF Sセーリングテキスト」〈1人乗り教材〉、〈2人乗り教材〉

また表彰制度については、平成20年度から企画検討を開始する予定です。

2. スポーツに関する安全啓発およびスポーツ振興のための国際交流

上記の書籍、視聴覚教材（DVD、テキスト）内にて安全を啓発。

また平成19年10月よりマリンスポーツを安全に行うために、YMF S提携ヨットスクールにおいて、AEDおよび緊急蘇生セットの設置を促進しました。

AED 平成19年度10店設置済み、内3店支援

緊急蘇生セット 平成19年度 2店設置済み、内2店支援

平成20年度は、AEDの全店設置、緊急蘇生セットについてはジュニアヨットスクールを開催する残り8店への設置を促進します。

3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- (1) スポーツ普及・振興のためのパネル展示

平成19年9月24日静岡県御前崎で開催された、オートバイライダーによる海岸清掃活動「Love The Earth」にてパネル展示を行い、財団活動を紹介しました。

- (2) スポーツ普及・振興のためのWEB開設

財団設立と同時にWEBサイトを開設しました。また平成19年9月にWEBサイトをリニューアルし、情報の量、質、見易さ、扱いやすさを見直しました。この結果、1日あたりのページビューが約2倍（約1,500→約3,000）に増加しました。

- (3) スポーツ普及・振興のための定期刊行物発行

チャレンジャーの活動報告、リリース、インフォメーション等をまとめた情報誌「YMF S通信 Do the challenge」を年間4回発行しました。

県市区町村教育委員会、県体育協会、各メディア、関連団体等約3,000ヶ所へ発送しました。

vol.1 5月1日発行

特集「平成19年度 YMF S スポーツチャレンジ助成金贈呈式」を開催  
激励メッセージ&助成対象者第1期生インタビュー

vol.2 6月28日発行

特集 スポーツチャレンジ助成対象者に見る 自分の可能性を「信じる力」  
YMF S スポーツチャレンジ研究助成 研究ファイル（1）

vol.3 9月25日発行

特集「めざせ、1勝！」 中京女子大学 硬式野球部  
YMF S スポーツチャレンジ研究助成 研究ファイル（2）  
YMF S 国際スポーツ奨学金 平成19年度奨学生の活動紹介

(4) 水辺をテーマとした絵画コンテストの開催

JMPFの解散および事業引継ぎを受け、第19回『全国児童水辺の風景画コンテスト』を実施しました。平成19年7月10日から9月30日まで作品を募集し、47都道府県の幼稚園、保育園、小学校などから計6,373作品と多くの作品が寄せられました。応募作品は一次審査、二次審査を経て、文部科学大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、農林水産大臣賞を各1作品、さらに幼児、小学校低学年、小学校高学年の部門ごとに金賞2作品、銀賞3作品、銅賞3作品および特別賞を決定しました。大臣賞を受賞された4名の児童の表彰状授与式を、各児童が通う小学校と保育園にて行いました。また他の受賞者には盾および副賞を贈呈、応募者全員に参加賞としてスケッチブックをおくりました。